

市民と行政がともに学ぶ エコ・リサイクル交流集会2015

生ごみの3R? ただいま実践中!

日本で発生する食品ロスは年間500万～800万トン。国民1人当たり毎日おにぎり1～2個分を廃棄していることとなります。しかも家庭から排出された生ごみはほとんどが焼却処分されているため、生ごみを減らす様々な取り組みをご紹介します。

<日時>平成27年3月7日(土)

13時～16時30分(受付12時30分～)



<会場>さいたま市文化センター 多目的ホール (4階)

(JR京浜東北線・武蔵野線 南浦和駅西口より徒歩7分)

<参加費>資料代 500円(エコ・リサ会員は300円)

<定員>100名

行政の取組

①「食べきりS a i T a M a 大作戦で食品ロス徹底削減」

埼玉県環境部資源循環推進課リサイクル担当 櫻井 卓さん

食品ロスは「もったいない」というだけでなく、環境にも大きな負担となっています。ではどうすれば食品ロスを減らすことができるのでしょうか?埼玉県が展開している「食べきりS a i T a M a 大作戦」を中心に解説します。

②「生ごみは宝!」環境と福祉の融合

戸田市役所環境クリーン推進室 吉田義枝さん

戸田市の人口は、年々増加し、市民の平均年齢38.7歳と若く、現在、ごみは17分別しています。その上、生ごみ分別を推進して、市民が受け入れてくれるのか? その生ごみ堆肥の活用、花の生産や花のまちづくり、コミュニケーションの形成、食育、障がい者の雇用、地産地消などの取り組みをして、全国花のまちづくり「国土交通大臣賞受賞」・「国際コンクール」で準優勝を受賞しました。

市民の取組

①「竹チップを使った生ごみの消し方!」

埼玉エコ・リサイクル連絡会 上領園子さん

竹を針状のチップに粉碎し生ごみを混ぜて放置すれば多量の生ごみも2週間で分解してなくなる。家庭では竹チップの入ったバケツやコンテナを使用し、ニオイもなく夏は特に助かる。これを肥料として使えばびかいちの作物が。

②「段ボール箱利用の堆肥づくり!」～作り方から活用法まで～

埼玉エコ・リサイクル連絡会 土淵 昭さん

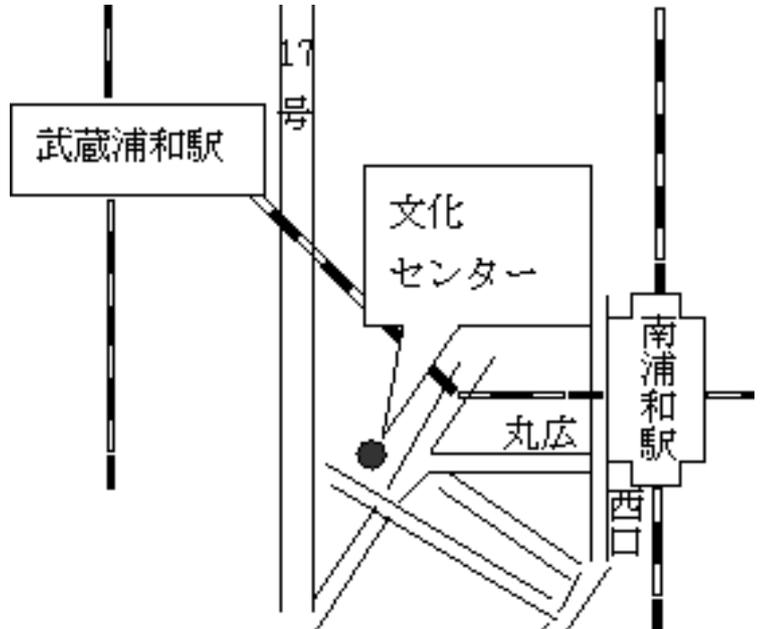
段ボール箱の中に、ピートモス、もみ殻燐炭および米ぬかを入れて混ぜ 合わせたものの中に毎日生ごみを入れ続けて6カ月、好気醗酵させて素晴らしい有機肥料が出来上がります。臭いニオイはしません。出来た肥料の使い方も説明します。



<会場>さいたま市文化センター
多目的ホール 鳳翔の間（4階）

（JR京浜東北線・武蔵野線
南浦和駅西口より徒歩7分）

（さいたま市南区根岸1-7-1
TEL. 048-866-3171）



<申込み方法>

●ホームページ <http://www.townnavi.info/eco-risa/index.html>

●郵送 〒338-0002 さいたま市中央区下落合7-9-33 サンハイツ与野100室

有限会社ビー・リング内 エコ・リサ交流集会宛

●FAX 048-829-7110 <申込み締め切り> 平成27年2月28日（土）

郵送・FAXの方は、下記参加申込書に必要事項を記入しお申し込みください。

★申し込み多数によりお断りする場合以外は、こちらから連絡はいたしません。

<主催> 特定非営利活動法人埼玉エコ・リサイクル連絡会 <後援> 埼玉県

参加申込書

氏名（フリガナ）	住 所	所属団体	エコ・リサ 会員は○ 印を
	TEL FAX		

※終了後、懇親会を予定しています。参加ご希望の方は、参加申込書の該当欄に御記入ください。
（参加費3,000円予定当日徴収いたします）

交流集会後の懇親会	（どちらかに○印）	出席	欠席
-----------	-----------	----	----